

【評価実施概要】

事業所番号	175300334		
法人名	有限会社ライジング		
事業所名	グループホーム いこい		
所在地	網走市天都山54番地75 (電話) 0152-61-2301		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成20年12月8日	評価確定日	平成21年1月23日

【情報提供票より】( 年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月26日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤	13人, 非常勤 5人, 常勤換算 17人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	17,000 円	
敷金	有( 円 ) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円 ) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	400 円
	夕食	450 円	おやつ	0 円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要( 12 月 8 日現在 )

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	6名	要介護2	5名		
要介護3	3名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 85.3 歳	最低	63 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	網走中央病院、北原歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

網走市都心南部の天都山中腹に位置した風光明媚な場所にあつて、平屋建て2ユニットのホームである。建物は採光、温暖、換気によく配慮され、居室、共用空間、廊下、トイレ・浴室などもゆったりして居心地のよさを感じられる。外庭には芝生、畑などがあり、夏場などは利用者のくつろぎの場となっている。職員は物静かで、笑顔が多く、利用者・家族への対応も丁寧にケアに徹している。家族は職員に対して非常に高い評価をしており信頼も厚いものがある。これからも家族や地域を支え、支えられて発展していくホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価の改善課題について次のように改善されている。運営推進会議の取り組みについて:会の開催に先立ってホームを見学したことにより、現状の理解が深まり、内容が充実した論議がなされるようになってきた。重度化や終末期に向けた対応について:本人・家族、医師等に指針を説明し、同意書も交わしている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価は職員全員が自己評価の目的や意義を理解し、きめ細かく現状を分析・検討し、共有を図りつつ実施している。職員の意識向上、ケアの見直しに活かした積極的な取り組みが見られた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 会議は2ヶ月毎に開催され、適確に記録されている。当初会議ではホームの理念や運営内容の説明、行事等の報告が主であったが、最近では会運営もホーム内を見学してから開会するようにしたこともあつて、ホーム運営の現状・課題や利用者サービスのあり方、事故防止対策、地域との連携などの話題も論議されるようになってきた。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族の意見、要望は出来る限り取り入れ、職員会議や運営推進会議等で話し合わせ、日々の運営に活かしている。また利用者の状況を毎月発行の「いこい新聞」に掲載し、手紙を添えて報告するなど家族との信頼関係の構築に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入し、地域の祭り、文化祭や市の観光花づくり事業などにも積極的に参加している。また一方町内会にホーム情報を発行し、「地域のホーム」としての役割についても理解を深めるよう努めている。行政、包括支援センターなどの協力関係もさらに深めつつある。

## 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域の中で一人ひとりが尊厳を保ち、その人らしく穏やかな暮らしができるよう家族のような関係のサービスを提供する」という法人独自の理念を策定し、日々、理念に沿ったケアを目指して実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は毎月のミーティングで理念を確認・共有すると共に理念カードを携帯して運営方針や具体目標を互いに確認しあって業務についている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に会員として加入し、地域の祭りや行事、観光向けの花作り事業などの地域活動にも参加すると共に、ホーム行事予定パンフレットを町内会に回覧し、参加を呼びかけるなど積極的に住民との交流を深めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は、内部・外部評価の意義を十分に理解している。前回の外部評価についても、その結果を踏まえて改善計画を立ていち早く改善に取り組んでいる。改善事項等は職員はもとより推進会議委員、家族にも周知されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を定期的で開催し、その役割はホームからの一方的な報告にとどまらず意見・要望を受けて、今後の課題に関するモニター役にもなりつつある。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市関係者、関連団体にホーム行事などの情報提供をしている。また運営推進会議委員として会議でホームの実情や取り組み、課題等について具体的な意見を交換するなど密接な関係づくりに努めている。</p>		
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の訪問時や毎月発行の「いこい新聞」で日常生活の様子や健康状態なども詳しく伝えている。金銭関係については、会計明細書と領収書を添えて報告している。訪問時に出納簿を見せ確認印をもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を年2回開催し、意見を聞くようにしている。また来訪時に意見、不満、苦情など気軽に話せる雰囲気づくりに努めている。意見箱もあり、運営に反映できるシステムもある。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者、家族との信頼関係を築くため、職員配置は出来るだけ固定している。やむ得ない異動の場合には利用者への紹介や家族への周知等の配慮に努めている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者は年度当初に内・外部研修一覧を職員に提示して、職員個々の意見を聞き研修計画を立案している。研修終了後はレポートを提出し、全職員に伝達する仕組みになっている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管内グループホーム連絡会に入会して他ホームの訪問見学、合同研修会を開催するなど、互いに交流を深め、サービスの質の向上に努めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者がホームの雰囲気に馴染むように事前に見学をしてもらい、家族と相談しながら安心感を持ってもらえるよう段階的な工夫をしている。入居後は、環境の変化に留意し、同居者とのコミュニケーションをサポートするようにしている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家族的ホームを目指して利用者の不安、苦しみ、喜びを知ること努め、共感できる関係を築いている。利用者の得意なことの力を発揮できるよう機会や場づくりに配慮、工夫がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者一人ひとりの希望、意向を日頃の会話や行動から把握するよう努めている。把握困難な場合は家族から情報を得る。また関係者間で情報交換をして本人の視点に立って検討している。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>1ヶ月毎に担当者会議で利用者の意向や要望を協議してスタッフ間で意思の統一を図ってケア計画を作成、それを基にケアマネジャーがチェックしている。会議には必要に応じて家族も参加、本人や家族の要望を取り入れ、利用者に沿った介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本的には3ヶ月毎に見直しを行っている。状況変化時には変化の原因把握に努め、本人、家族の意向を聞き検討して現状に即した介護計画を作成している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて外出、買い物、通院などの送迎支援をしている。また週1回催しているホーム内の2ユニット合同行事とか家族ぐるみの行事に参加するなど本人の要望に応じた柔軟な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期的に内科、歯科の訪問診療があり、適切な医療を受けられる体制になっている。必要に応じて通院支援もしている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>本人、家族の意向、事業所が対応しうる最大の支援方法を踏まえて、チームで終末期の対応指針を作成し、関係者の理解を得て同意書も貰っている。現在まで終末の看取りのケアは行っていない。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>言葉かけや対応は、利用者のプライドを損ねることのないよう留意し対応している。記録などの取り扱いも「個人情報保護法」をよく理解し徹底している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者のその日の希望に添って作品作り、散歩、買い物、調理の手伝いなど本人の思いを尊重して個別性のある支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みや摂取状態を把握して見守り支援をしている。利用者の力に応じて調理のごしらえ、配膳、下膳など一緒に行っている。スタッフは楽しい食事になるように雰囲気づくりに気配りして同じテーブルで食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調や希望にあわせて入浴回数、回数、時間帯、利用者の希望にあわせて臨機応変に入浴支援をしている。楽しく入浴できるよう設備は整っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除、洗濯物たたみ、食事の準備、作品作りなど個々の利用者が役割を見出し、力が発揮できるよう場や機会をつくり支援している。職員との買い物、ドライブも利用者の気分転換と喜びになっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	個々の希望に応じて散歩、ドライブ、買い物など戸外に出かける機会をつくり、積極的に戸外に出かける支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけずに自由に出入りができるので安全に配慮して事故のないように見守り支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	通報マニュアル、連絡網を作成して避難訓練を年2回実施している。避難誘導、町内会や近隣の協力関係も得ながら実施している。対策マニュアルの確認や救急法の学習も行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内の管理栄養士が献立を作成し、栄養のバランスを考え提供している。嚥下困難な人には細食にする配慮、食事・水分摂取量をチェックするなど、個々の摂取状態を把握して適切に摂取できるよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	採光、換気、温度等の管理、居室・廊下・トイレ・浴室の配置も、利用者や職員の日常の動線をよく配慮されている。共用空間の壁面には利用者の作品が展示され生活意欲を守り立てる役割を果たしている。利用者が居心地よく過ごせるような工夫がされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は利用者が慣れ親しんだ家具、仏壇、調度品が持ち込まれ落ち着いた気持ちで過ごせるようその人らしい居室になっている。		

 は、重点項目。